

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(令和元年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県御勅使南公園	所管課	県土整備部 都市計画課
所在地	南アルプス市六科1588-2	設置年月日 (改築年月日等)	昭和61年11月1日
管理方式	株式会社富士グリーンテック		
設置根拠 (法律、条例等)	都市公園法、山梨県都市公園条例		
設置目的	(1)都市公園としての①～③の機能を発揮すること。 ①遊び、憩いの場を提供すること ②防災拠点としての機能を発揮していくこと ③良好な緑地景観、環境を提供すること (2)スポーツの場を提供すること		
主な施設内容 (定員等)	○公園面積 35.4ha ○施設の内容 ・ラグビー場(34,000㎡、メイン・サブ2面) ・管理事務所(RC造平屋建、延床面積300㎡) ・遊具広場(25,000㎡) ・徒渉池(1,200㎡) ・疎林広場(4,280㎡) ・トリムコース(3,400㎡) ・その他(中央広場、緑地、園路広場、駐車場、駐輪場)		
主な業務内容	(1)公園施設及び設置器具等の維持保全 (2)有料施設の利用承認 (3)県が実施する大会等への協力		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	(1) 山梨県笛吹川フルーツ公園
------------------------------	------------------

3 利用状況

単位:人、%

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度 (目標値)
利用者数	公園利用者数	293,191	287,012	307,814	
	(うち有料施設利用者数)	(15,512)	(18,154)	(18,850)	
	利用者数合計	293,191	287,012	307,814	
	目標値	280,000	290,000	295,000	312,000
	目標値設定の考え方 及びその理由	施設改修工事の 影響による利用者 減を見込んだ前年 度実績	施設改修工事の 影響による利用者 減を見込んだ前年 度実績	前年度実績× 103%	前年度実績+ 5,000人
	対平成29年度比		97.9%	105.0%	
利用率	803人/日	786人/日	843人/日		

4 指定管理業務の収支状況

単位:円、%

		平成30年度	令和元年度 (計画値)	令和元年度 (実績値)	令和2年度 (計画値)
収入	施設利用料	715,460	756,000	825,000	770,000
	指定管理者委託料	78,741,000	79,872,000	79,872,000	81,863,000
	その他	1,327,264	1,600,000	1,488,547	1,600,000
	収入合計(A)	80,783,724	82,228,000	82,185,547	84,233,000
支出	人件費	22,752,226	25,564,000	25,377,490	25,564,000
	県への納付金				
	管理運営費	57,663,173	56,664,000	56,395,599	58,669,000
	うち外部委託費(B)	22,690,330	25,000,000	25,946,206	26,000,000
支出合計(C)	80,415,399	82,228,000	81,773,089	84,233,000	
収支差額(A-C)	368,325		412,458		
外部委託比率(B÷C)	28.2%	30.4%	31.7%	30.9%	
利用者一人当たりの経費	274.3	278.7	259.5	270.0	

5 利用者満足度(アンケート様式は別添のとおり)

実施方法等	実施時期:2019年4月～2020年3月 実施方法:公園利用者へのアンケート 回答数:255人
-------	---

単位:%

調査項目	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
花や木々について	70.0%	28.0%	2.0%	
トイレや休憩所について	56.0%	35.0%	9.0%	
芝生・園路・広場について	70.0%	29.0%	1.0%	
園内情報・案内板について	53.0%	42.0%	5.0%	
園内の安全・防犯について	51.0%	44.0%	5.0%	
公園スタッフの対応について	68.0%	31.0%		1.0%
施設全般の満足度	72.0%	27.0%	1.0%	

利用者の意見	<p>【公園施設に関するもの】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・樹名板等を多く設置して名前をわかるようにしてほしい ・駐車場が狭い(台数が少ない) ・トイレを増やしてほしい ・芝生がきれい、美しく気持ちの良い公園など高評価の意見も多い <p>【運営・利用者対応に関するもの】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・喫煙所を無くすか減らしてほしい ・犬のふんの始末を指導してほしい ・お湯を使えるようにしてほしい ・車椅子を用意してほしい
利用者の意見への対応	<p>樹名板作成のイベントを開催し、楽しみながら樹木の名前を覚え親しみを持って緑と接してもらえる取組みを実施。河川エリアの臨時駐車場へのアクセスや安全性の問題を解決すべく関係機関と協議を継続し、利用しやすい施設への改善へ向け取組中。トイレ数の増加は早期に実現できないものの、各所で洋式便器への更新を含む改修工事を進めており、利用者には良いイメージが定着している。</p> <p>喫煙所は受動喫煙のリスクを低減させるため設置場所を順次見直し、移動や廃止の措置をとっている。職員の巡回で犬の糞を適宜清掃し、声掛けや注意事項の掲示によりマナー向上を図っている。パークハウスでは乳児のミルクについてはお湯を無料で提供しているが、手洗い場への給湯器設置については慎重に検討している。また、同ハウス内に貸出用の車いすを配置し利用できることを周知している。</p>

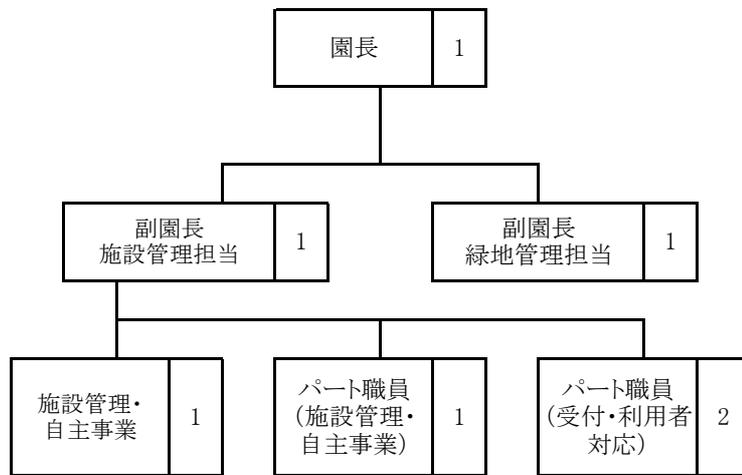
6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	<p>早朝から閉園まで、職員による巡回を行いながら、情報の収集、異常の早期発見と速やかな対応を実施して安全で清潔な利用環境を維持することができた。</p> <p>緑地管理及び施設管理は、直営による順応的かつ性能重視を図る作業工程を組みながら効率的で効果的な作業を行うことができた。台風による災害復旧では再委託業者を交えて園内のハザードを遅滞なく除去することができた。</p>	<p>施設の不具合の早期発見及び修繕により、適切に維持管理業務を遂行しており、特に緑地管理や施設管理は、委託だけでなく直営でも対応することで、早期対応に繋がっている。</p> <p>さらに、園内のみでなく近隣の清掃も行うことで、地域の美化活動にも取り組み、利用者への快適な公園環境の提供に努めている。</p> <p>今後も適切な維持管理を行い、利用者へ快適な公園環境の提供に努めること。</p>
運営業務	<p>利用者から寄せられる意見や要望は毎月行われる全職員参加の企画会議で共有し、今後の取り組みとその内容を掲示板に張り出し管理運営業務の『見える化』を行っている。倒木や施設の破損など緊急性のある利用対応については造園施工管理の技術を生かし職員誰もが速やかに処置できる体制を整えている。園内の情報は新聞折込やSNSを利用して幅広い世代へ提供できるよう努めた。</p>	<p>利用者からの意見に対し適切に対応を行っている。また、施設の不具合等には、専門的な意見を取り入れることで、適切かつ迅速に対応し、利用者へ安全安心な環境を提供している。</p> <p>今後も、適切な運営業務を行い、利用者が安心して利用できる環境づくりに努めること。</p>
利用状況	<p>リニューアルされた徒渉池の情報を広く発信したことにより夏場を中心に昨年よりも利用者が増加した。また、ラグビー人気の高まりを受け天然芝グラウンドも利用増となった。3月以降、外出自粛により利用者が減少したが、特に遊具やジョギングコースでは感染防止対策の注意事項を看板や巡回で周知しトラブルの防止を図ることができた。今後は河川敷芝生地有効利用を図り利用者の増加を目指したい。</p>	<p>SNSや近隣の教育施設へのPR、所在市等との連携等により情報発信に努めたことで、3月の外出自粛があったものの、夏場の利用者が増え、年間の利用者も増加している。</p> <p>今後も、更なる情報発信を行い、リピーターの確保や利用者数の増加に繋がるよう努めること。</p>
収支状況	<p>災害復旧を含めた園内の維持管理業務においては、直管作業を中心に作業の効率化を図り計画の範囲で対応することができた。人件費、再委託費材料費など物価上昇により増加傾向にあるが、光熱水費の抑制や維持管理作業の省力化を検討しながら支出を抑え、利用者一人当たりの管理コストを現在の水準で維持していきたい。</p>	<p>台風により倒木等への対応が増えたが、委託業者のみで対応するのではなく、直営でも対応することで、植栽管理に係る経費は計画の範囲となっている。</p> <p>リニューアルした親水施設の人気が高まり計画よりも光熱水費が必要となったが、昨年度に比べると抑えられており、経費削減に努めている。</p> <p>今後も計画的な収支管理を行い、経費の削減に努めること。</p>
自主事業	<p>2回目となるハーブフェスタは飲食の出店や休憩施設の充実を図り昨年以上の参加者を募り好評を得ることができた。今後も公園の魅力発信と地域活性化を図りながら、収益事業への発展を試みる。そのほか、南アルプス市との協働で進めた歴史景観ウォークでは多くの参加者に向けて公園が立地する治水の歴史や地域景観の魅力を発信することができた。今後も地域の活力を生かしながら新しい取り組みを行っていきたい。</p>	<p>平成30年度から開催し、令和元年度で2回目となるハーブフェスタは参加者から好評を得られている。</p> <p>今後も、多くの参加者を公園へ呼び込めるような自主事業を開催し、公園の活性化へ繋げていけるよう努めていくこと。</p>
利用者満足度	<p>イベント、一般利用、有料施設利用など様々な目的で訪れる利用者から偏りのないアンケート調査を実施し、対応過程を公表しながら職員の問題解決意識の向上と運営の見える化を図った。年度ごとに多少の変動はあるものの、多くの分野で満足感を得ているとの評価を頂いている。トイレや駐車場などハードの改善を求める意見には県との意見交換や協議を重ねながら対応していきたい。</p>	<p>適切な管理運営や利用者への対応により、利用者からは高い満足度を得られている。</p> <p>今後も高い満足度を維持できるよう、適切な管理運営に努めること。</p>

<p>運営目標の達成状況</p>	<p>運営目標の指標 ①来園者数 目標値 295,000人 → 実績値 307,814人 ②来園者数のうち有料公園施設利用者数 目標値 18,000人 → 実績値 18,850人 リニューアルされた徒渉池の宣伝効果により夏期を中心に家族連れが多く来園し全体的な利用者増の要因となった。高温期の遊具遊びに代わる利用スポットとして更なる周知を図っていきたい。また、集客イベントである「みだいハーブフェスタ」の規模拡大や南アルプス市との協働イベントの開催により公園の新たな魅力を発信する機会が増しており更なる利用者の増加を図りたい。今後は河川エリアにおける利用機能を充実させ公園の価値を高める運営を目指していききたい。</p>
<p>施設所管課による総合的な評価及び指導事項</p>	<p>適切な管理運営により利用者からは高い満足度を得られている。 これまでは夏場の利用者が少ない状況であったが、リニューアルした親水施設の魅力発信を行ったことで、令和元年度は夏場の利用者が増加しており、さらに、SNS等の活用により公園利用者及び有料施設利用者は前年度を上回る利用者数となっている。 平成30年度から始めた自主事業であるハーブフェスタの規模を拡大し公園の活性化へ繋げること。また、外国人向けにパンフレット等の多言語化に取り組むとともに、公園の情報発信のためSNS等の更新頻度を高め、更なる利用数の増加につなげてもらいたい。</p>
<p>施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況</p>	<p>自主事業であるハーブフェスタは飲食、物販などの出店数が4割程度増加し、休憩施設を多く設けるなど内容を充実させたことで昨年よりも5割ほど参加者が増加した。更に園内に定期的な移動売店等の出店を誘致し利用者の利便性の向上に努めた。 情報発信については従来のフェイスブックに加え、ツイッターやインスタグラムを開始し季節の見どころや大事なお知らせなど更新頻度を高めながら多くの利用者に園内の魅力を伝えることに努めた。 なお、令和2年の夏までに外国人向けに英語版のパンフレットを作成・配布していく。</p>

7 管理体制(組織図)

平成31年4月1日現在



園長	1人
副園長	1人
副園長兼植栽管理担当	1人
一般職員	1人
パート職員	3人
合計	7人